

2023年度 事業報告書

一般社団法人かたわら（第1期）2023年4月25日（法人登記日）～2024年2月29日

1 事業の成果

設立1年目の2023年度は、核兵器の全面的な廃絶と、普遍的な人権の尊重、市民の政治参加などを促進するために、情報発信やイベント開催、議会・行政・企業などへの政策提言、国内外の諸機関とのパートナーシップづくりを目的とし、その目的に資するための事業を行った。発足1年目であったが、社会課題に対する考察の深化、活動する地域・テーマも核問題を基軸としつつ、徐々に広がり、サポーター（一般社団法人かたわらの賛同者、寄付者、アドバイザー等の仮総称）のネットワークも拡大中で評価できる。ただマンパワー不足から、情報発信（報告・告知等）の停滞があり、それが、サポーターとのコミュニケーション不足にもつながった。次年度は引き続き事業規模拡大を目指し、情報発信・他団体との連携に注力し、取り組みへの理解促進に努めたい。

2-1 核兵器廃絶に向けた地方議会 / 国際会議へのアドボカシー事業（政策提言）

- 全国各地の地方議会において、「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」採択に取り組む。時系列順に、京都府木津川市（不採択 / 法人設立前）、徳島県鳴門市議会（採択 / 公明党提出 / 理事・徳田の複数回の訪問、市民との連携により。）、神奈川県藤沢市議会（採択 / 「核兵器国との橋渡しを担う」ことを求める趣旨 / パルシステム神奈川などが提出。提出サポート）。2024年事業年度においては、一社かたわら共催イベント聴講者が、大分県大分市議会に陳情を提出されたため、6月議会において検討がされるものと思われる。山梨県韮崎市（オブザーバー参加について採択）、甲府市（批准）、甲斐市（現在進行中）、国立市議会（現在進行中）
- G7 広島サミットにおいて、NGO センターに在中し、情報発信、アドボカシーに努めた。その際、国内外のNGOとのネットワークが生まれ、引き続き「G7市民社会コアリション」に関与している。

2-2 核問題について考えるワークショップやイベント事業 / 学校・大学で実施、講師招聘も含む

- 徳島大学の講義（共通科目）のオンライン授業（徳田）「平和のための軍事的安全保障研究入門」（2024年1月9日）
- 徳島大学のイベント登壇（2023年12月10日）
- 共催：日本平和学会中国・四国地区研究会、香川大学法学会で理事・徳田が講演（2023年7月25日）https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_jl/topics/18454/30411/

共同通信で報道：<https://mainichi.jp/articles/20230803/ddl/k37/040/214000c>

●立命館付属宇治高校 講座 高校 3 年生を対象に 100 分間×2 クラス。テーマ「武力によらない平和のつくり方を考える」

2-3 平和をつくるための国際交流事業

●インドネシアのパダンパンジャン高校の修学旅行、長崎訪問に際して、事前学習会（オンライン）をコーディネートし、訪日時は、奈良県内で日本のユースとの対話セッションをコーディネートし、核兵器廃絶のための何ができるかを考えた。

●ルワンダのジェノサイドを受けて、毎年、NPO 法人「ルワンダの教育を考える会」（福島県所在）が「ピースコンサート」を実施しており、8 月 15 日に、高橋がオンラインで出演し、日本や広島の実験を共有し、平和構築へのネットワーキングを行った。

2-4 イベントコーディネート事業

大分の「3.11 いのちのわ」と共催で、「核兵器のない世界について考える」連続講座（全 3 回）を企画。開催自体は第 2 期。

3 外部メディア発信

・講演・出演：講演についてはコンスタントに依頼を頂き、第 1 期は代表理事・理事合計 40 回。以下、主な講演枠組み、主催者（順不同、敬称、開催日時略）。横須賀 YMCA「平和を考える勉強会」「キックオフミーティング」、「社会教育研究全国集会」平和分科会、「社会福祉法人名古屋キリスト教社会館」総会、青葉大学、神奈川県生協連「平和について改めて考える学習交流会」、みのおピースフェスタ、バグライテン「憲法カフェ」、第 53 回全国民主主義研究大会、鎌倉での講演会（神奈川ネットほか共催）、ピースデポ「」、オーブ京都講演会「核廃絶の現在地点」、憲法連絡会「あとのまつり」「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」総会、「核兵器禁止条約の批准を政府に求める滋賀県民の会」、総会、

・執筆：「歴史地理教育」（8 月号）、「ちいさいなかま」（全国保育団体連絡会、8 月号）、「どリーむぺいじ」（パルシステム神奈川、8 月号）、「民主主義教育 21」（vol.18）などに寄稿することができた。「平和の対義語は戦争ではない。誰かが生きづらさを抱える社会こそ、平和の対義語です、という高橋悠太さんの言葉が心に残りました。感心と感謝です」などのコメントが寄せられた。

出演：TBS「N スタ」、NHK「クローズアップ現代+」ほか複数番組。共同通信、時事通信社、朝日新聞、共同通信、広島ホームテレビ、日本経済新聞などに掲載。